

とんだばやし認定調査通信 28号



【7-1】障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）について

★排泄、食事に介助が必要でベッド上が主というだけで C ランクを選択していませんか？★

✓ POINT① 「～することができる」といった「能力」の評価ではなく「状態」、特に【移動】に関わる状態像に着目して、日常生活の自立の程度を 4 段階にランク分けすることで評価する。

✓ POINT② 調査員テキスト P.156 に示している通り、C ランクは日常生活活動の食事、排泄、着替のいずれにおいても介助者の援助を全面的に必要とし 1 日中ベッド上で過ごす場合です。

例（特記）：自力で寝返りはできず、ほとんどベッド上の生活であるが、食事や排泄は介助のもと車椅子に移乗し食堂やトイレへ移動している。食事は自立しているが排泄は介助を要する。【B2】

⇒ほとんどベッド上の生活なようですが、排泄と食事はベッドから離れて行い、介助のもと車椅子に移乗されているので「B2」に該当すると考えられます。

ほとんどベッド上の生活で寝返りができないという「能力」の評価だけで C ランクと判断しないように注意が必要です。

判定基準のフローチャート

